

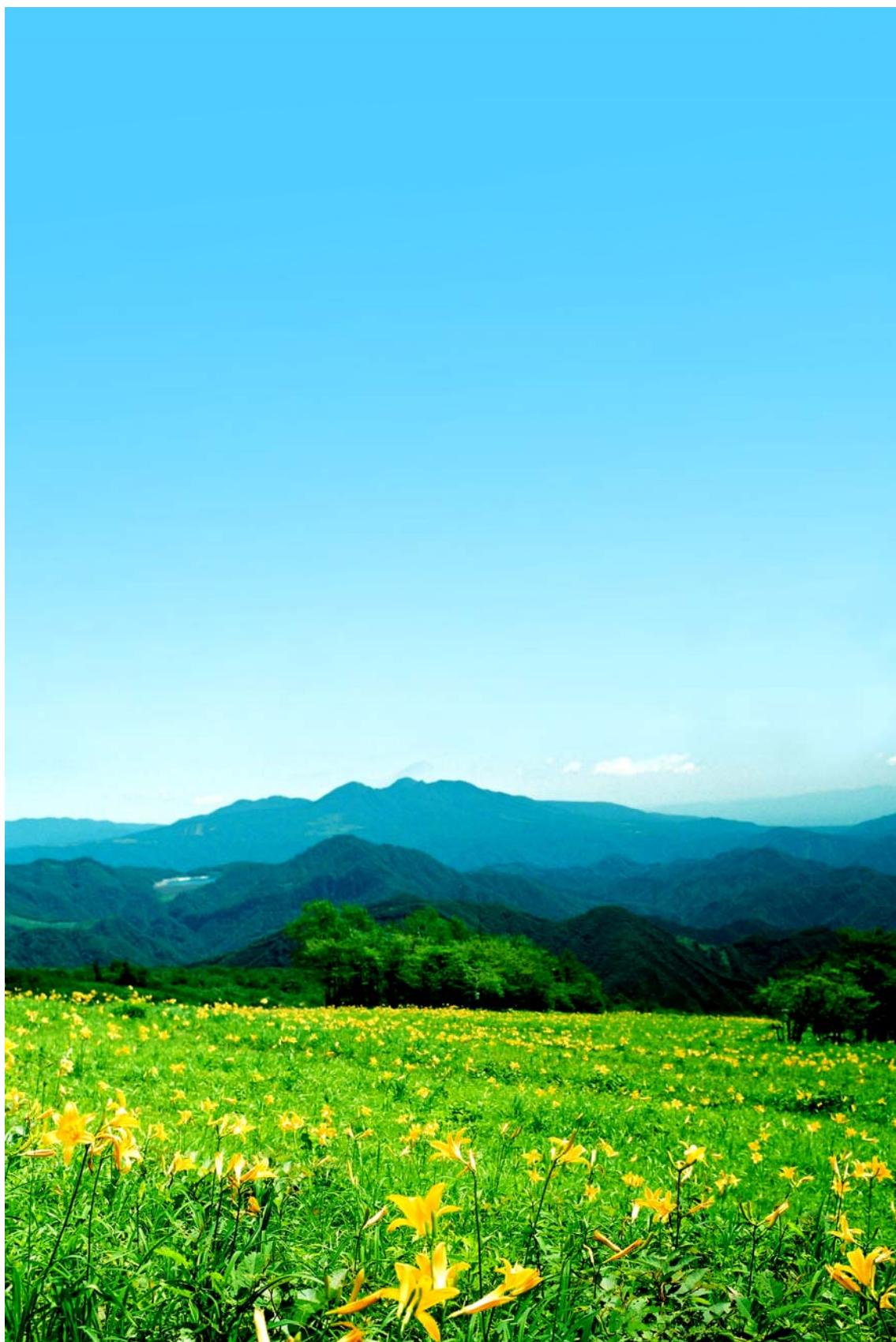
【IV】 初夏の百草園

世はガーデニングブームである。野草はもとより、ハーブ、香木、ツバキ、バラ、それぞれのコンセプトにしたがって、いろいろなものが植えられている。しかしこれはよくよく考えてみると、アウトドアブームの一環のようにも思える。ここのところ30年以上に渡って、住宅は多くの場合がマンションだった。しかし人間は過去の歴史において、マンションで暮らしたのはせいぜい100年程度であって、本来は大地の上にとしっかりと足をふみしめて生きてきた。だから、空中生活はどうも落ち着かない。その代償としていろいろなものを求めるようになる。ゴルフばかり、アウトドアライフばかり、ガーデニングばかりのようにも見える。

しかし2010年ぐらいを境に、我が国の人口は下降線に向い始めた。これからは土地付き一戸建てで生活していた人たちが、高齢化のために土地を手放したり、一人っ子同士の夫婦が両方の親の家を相続して、どちらかを売却せざるを得なくなったり、著しい社会変化が起こることは間違いない。そして21世紀は20世紀に盛んに行なわれたことが、ことごとく否定される時代になるだろう。都市への人口集中、大量消費型の経済、物質志向型文明、クルマ社会、核家族……。現実の問題として地球規模でものを考えたとき、70億人にも膨れ上がった人口を、養いきれない飽和状態になりつつあることは確かである。しかし同時に人間の英知は新たな技術によって、新たな変革をもたらし、この問題を解決して行くであろうこともまた確かである。

新しい解決方法の一つは、インターネットやモバイルツールによる人口の郊外分散化であろう。都心から離れて仕事ができるようになれば、少しは広い敷地の我が家で、花や木を育てながら、のんびり仕事ができる。人口の集中により始まった環境破壊の問題は、庭のある家庭であれば、生ごみぐらいは家庭内で十分に処理できるから、少しは自然のサイクルを取り戻すことも可能になってくる。誰しもがそんな未来への予感を、無意識のうちに感じながら行動しているからこそ、アウトドア志向が途切れることなく続いているのかもしれない。

※一年草と多年草＝一年のうちに植物の一生を完了するものを一年草といい、ヴィオラやパンジーはその代表である。これに対して数年にわたって生長を続けるものを多年草と呼んでいる。多年草の中には一年のうち葉が枯れている季節のあるものや、一年中、葉や花などが残っているものなどもあり、前者を特に宿根草と呼んでいる。また秋に発芽して越冬し、翌年開花し結実して枯れる植物を越年草とか二年草という。



ニッコウキスゲの群落(栃木県日光市霧降高原)。

この項に記されている植物のリスト

【IV】初夏の百草園

02-04-00-1

- | | |
|---|------------|
| 1) シモツケ/シモツケソウ/キョウカノコ=下野/京鹿の子 | 02-04-01-1 |
| 2) キンギョソウ=金魚草 | 02-04-02-1 |
| 3) ベロニカ | 02-04-03-1 |
| 4) キンバイソウ/ギンバイソウ/ギンパイソウ
=金梅草/銀梅草/銀盃草 | 02-04-04-1 |
| 5) ホタルブクロとカンパニュラ=蛍袋 | 02-04-05-1 |
| 6) ユリ=百合 | 02-04-06-1 |
| 7) アマドコロとナルゴユリ | 02-04-07-1 |
| 8) カンゾウとキスゲ=萱草/甘草と黄菅 | 02-04-08-1 |
| 9) カキツバタ=杜若/燕子花 | 02-04-09-1 |
| 10) アヤメとショウブ=菖蒲 | 02-04-10-1 |
| 11) ハナショウブ=花菖蒲 | 02-04-11-1 |
| 12) ハナショウブ=菖蒲園逍遥-1 | 02-04-12-1 |
| 13) ハナショウブ=菖蒲園逍遥-2 | 02-04-13-1 |
| 14) イチハツ=鳶尾 | 02-04-14-1 |
| 15) シャガ=射干/著莪/菁莪 | 02-04-15-1 |
| 16) ガンピとセンノウ=岩菲と仙翁 | 02-04-16-1 |
| 17) ヤグルマソウ=矢車草=矢車菊 | 02-04-17-1 |
| 18) カネーション | 02-04-18-1 |
| 19) フウロソウとゼラニウム=風露草 | 02-04-19-1 |
| 20) ユウゲショウとハンゲショウ=夕化粧と半化粧(半夏生) | 02-04-20-1 |
| 21) ユキノシタとダイモジソウ=雪の下と大文字草 | 02-04-21-1 |
| 22) グラジオラス | 02-04-22-1 |

目次に戻る
